

令和2年度事業報告

事業概要

令和2年1月から広がりを見せた「新型コロナウイルス」は、波打つように感染拡大し、市民の健康や社会経済に大きな影響をもたらしました。特に、高齢者が感染すると重篤化しやすいことから高齢者集団である当センターにおいては慎重な感染予防対策が求められました。令和2年4月「緊急事態宣言」(国)、8月「緊急事態宣言」(県)、そして令和3年1月「緊急事態宣言」(県)が発令され、その都度、会員の生命・健康を守る観点から、受託事業の自粛、就業制限を図ると共に「新しい生活様式」を取り入れた感染予防対策の徹底を促して参りました。

令和2年度は、第三次中期事業計画(3カ年)の最終年度であることから、各数値目標の達成に向けて取り組みましたが、会員数(目標値538名)、就業率(目標値90%)、請負委任就業延人員(目標値30,886人日)、派遣事業就業延人員(目標3,017人日)、ボランティア活動(目標値391人日)といずれも目標値達成には至りませんでした。

令和2年度の事業実績(派遣事業除く)は、会員数が492名(男性305名・女性187名)、受注件数が1,033件、契約金額が216,000,006円、就業延人員が30,296人日、就業率74.0%、ボランティア活動延人員239人日の実績となりました。

前年度との比較においては、会員数、就業率はわずかではあるが実績増となりましたが、契約金額、受注件数、就業延人員、ボランティア活動の延人員は実績減となりました。

会員の状況については、新規会員が51名(男性25名・女性26名)に対して、退会者が48名(男性28名・女性20名)で、結果として前年度(名489)より3名増の492名となりました。

特に、令和3年1月に県連合と連携し「シニア向け出張入会説明会」を実施し成果を上げたことは今後の会員増に向けた取り組みとして大きなヒントを得ることができました。訪問家事援助事業(新総合事業)については、受注件数67件、契約金額3,001,600円、就業延人員2,144人日となり、前年度より就業延人員は減少したものの受注件数、契約金額では実績を伸ばすことができました。

労働者派遣事業については、前年度に引き続き、沖縄県連合と緊密な連携を図り、事業を推進したところではありますが、コロナ禍の影響で受注件数、契約金額、就業延べ人員といずれも減となりました。

なお、各事業内容の状況については、次のとおりとなっています。

事業実績

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

- ① 第三次中期事業計画の各数値目標を達成するため、企業や公共機関、一般家庭等からの受託事業により就業機会の確保・拡大を図るとともに入会促進を図りました。

第三次中期事業計画(目標値と実績)

	実績	目標値	達成率
会員数	492 名	538 名	91.4%
就業率	74.0%	90.0%	82.2%
就業延人員(請負委任)	30,296 人日	30,886 人日	98.1%
就業延人員(派遣事業)	1,568 人日	3,017 人日	52.0%
ボランティア活動	239 人日	391 人日	61.1%

② 事業実績(前年度との比較)

	令和2年度	平成元年度	前年度比較	前年度対比
会員数	492 名	489 名	3 名	100.6%
受注件数	1,033 件	1,190 件	△157 件	86.8%
契約金額	216,000,006 円	219,121,314 円	△3,121,308 円	98.6%
就業延人員	30,296 人日	33,039 人日	△2,743 人日	91.7%
就業率	74.0%	72.8%	1.2%	101.6%
ボランティア活動	239 人日	396 人日	△157 人日	60.4%

- ③ 福祉・家事援助サービス事業の拡大を図るとともに訪問家事援助事業(新総合事業)も積極的に取り組みました。特に、当事業は室内就業であることからコロナ感染予防対策を徹底するため、市役所所管課等と連携し、就業規制を図りながら実施しました。令和3年1月には就業会員のPCR検査を実施するなど安心・安全対策に万全を期し取り組んで参りました。

訪問家事援助事業

	令和2年度	平成元年度	前年度比較	前年度対比
受注件数	67 件	60 件	7 件	111.7%
契約金額	3,001,600 円	2,966,752 円	34,848 円	101.2%
就業延人員	2,144 人日	2,260 人日	△116 人日	94.9%

- ④ 就業の提供にあたっては、均衡化・適正化を図る観点からグループ就業やローテーション就業の推進に努めました。
- ⑤ 独自事業は、会員がその知識と経験・技能を生かし、企画・運営、創意工夫により就業機会の創出を図る事業であります。実績を上げるまでには至りませんでした。

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために有料の職業紹介事業を行う形態であります。今年度は希望する高齢者がいませんでした。

② 労働者派遣事業

会員の就業機会の拡大を図るため、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で労働者派遣事業を実施しましたが、コロナ禍の影響でいずれも実績減となりました。

労働者派遣事業

	令和2年度	平成元年度	前年度比較	前年度対比
受注件数	37件	91件	△54件	40.7%
契約金額	10,100,901円	12,151,580円	△2,050,679円	83.1%
就業延人員	1,568人日	2,019人日	△451人日	77.7%

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会を開催しました。

① 対象：正会員・一般市民

② 講習内容

ア 刈払機・チェーンソー・トリマーの技能講習会

令和3年2月に計画していましたが、新型コロナウイルス感染予防対策の為に中止となりました。

イ 清掃業務の技能講習会

令和3年3月に計画していましたが、新型コロナウイルス感染予防対策の為に中止となりました。

ウ クロキの剪定技能講習会を実施しました。 R2/11/20

(場所：シルバー事務所前広場 参加者 会員15名 一般4名 計19名)

(4) 上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

効果的かつ効率的な普及啓発活動を推進するため、一般市民、事業所、官公庁等への普及啓発活動を行いました。

ア 市広報誌を活用し、毎月、入会促進及び就業拡大について記事を掲載しました。

イ 市役所案内コーナーに来客用としてチラシを常時置くとともに、各課にはチラシの配布を行いました。

ウ シルバーだより「とよむ」を9月、3月と発行(1,000部×2回)し、会員及び市役所・市立中央公民館・市立中央図書館並びに関係機関に配布しました。

エ シルバー事業普及啓発促進月間(10月)行事の一環として、市役所ロビーにてパネル展(R2/10/12～16)を開催しました。

オ 市教育委員会主催の生涯学習フェスティバル(2月)に、毎回ボランティア活動として参加し、子ども達や来場者に豆腐づくりの体験学習の機会を提供してきましたが、コロナ禍のため中止となりました。

カ 自主・自立の基本理念に基づき、会員主導の意識強化を図るため普及啓発部会を開催しました。(4回)また、地域班長・副班長会議を開催しました。(4回)

キ 就業現場でのぼり旗を掲揚し、普及活動を行いました。

ク 新春交流もちつき大会を予定していましたが、コロナ禍のため中止となりました。

ケ ホームページを活用し、センターの情報発信を行いました。

② 安全・適正就業の推進

コロナ禍の状況で、「新しい生活様式」を取り入れたコロナ感染予防の徹底、就業等における安全意識の高揚と啓発を毎日の朝礼で注意喚起を行って参りましたが残念ながら5件（前年度4件）の事故が発生してしまいました。特に、「転倒・つまづき・よろめき」の事故が2件発生していることから、高齢による身体機能の低下を自覚すると共に移動する際の足元・安全注意を促していく必要があります。

- ア 安全掲示板を設置して無事故日数を表示し、安全意識の高揚を図りました。
- イ 安全就業・健康管理の周知徹底を図るため、安全・適正就業推進大会（7月）を開催しました。今年度はコロナ禍のため、規模を縮小して実施しました。
（場所：豊見城市社会福祉センター（2F） 参加者49名）
- ウ 安全就業委員を各職群班から選出し、安全・適正就業の意識高揚に努めました。
- エ 安全就業委員会を開催（3回）しました。
- オ 機械・器具等の事前・事後の点検及び整備の強化を図りました。
- カ 就業に必要な安全防具・防護ネット・立看板・パイロン等の整備に努めました。
- キ 会員の健康保持・増進及び生活習慣病の予防を図るため、特定検診の受診を促進しました。
- ク 安全就業推進員を配置し、現場の見積り時点で安全性の確認を行いました。
- ケ 毎朝、事務所前広場において、検温チェック、ラジオ体操を行い、安全就業推進員から安全・適正就業等に対する注意喚起を行いました。
- コ 安全就業推進員による安全パトロール（380ヶ所）及び県連合（安全・適正就業パトロール指導員）との同巡回指導（9回）を実施しました。
- サ 理事長・事務局長による安全パトロール（10回）を実施しました。
- シ 安全就業委員による安全パトロール（9回）を実施しました。
- ス 「安全就業基準不履行等会員に対する減点措置制度」（ペナルティ制度）を周知し、安全に対する意識の高揚を図りました。
- セ 「新型コロナウイルス感染予防対策」として、毎朝「うがい」「手洗い」「人ごみを避けましょう」の注意喚起を図りました。

③ 調査研究

シルバー普及啓発月間である10月に「会員アンケート調査」を実施しました。会員総数489名（9月末現在）で回答者は120名。男女比6対4、回収率は24.5%。特に今回は、会員の就業に対する満足度を調査すると共に、シルバー事業の推進は事務局と会員の相互理解が必要不可欠であることから、事務局職員の対応や気軽に入りやすい事務所となっているか等について意識調査を行いました。シルバー会員として満足しているかの問いに、86%の会員が満足していると回答しています。センター事務職員の対応について、70%の会員が好感を寄せ、28%が普通と回答。事務所へ気軽に入れるかについては、80%の会員が好感又は普通と回答。ただ、10%の会員が入りづらいと回答していることから、今後の検討課題となりました。今回のアンケート調査の結果を踏まえ、これからのシルバー事業や組織運営の在り方についてさらに研究を深めていきたいと考えています。

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者に適した就業を開拓するとともに、入会の促進を行いました。

- ア 就業機会開拓推進員が一般家庭・事業所等を戸別訪問し、就業機会の拡大を図ることとしていましたが、新型コロナウイルス感染予防のため戸別訪問での説明は自粛し、チラシの配布(5,103件)を中心に実施しました。
- イ 会員がチラシ配付をして会員確保・就業機会の拡大を図りました。
- ウ 就業現場周辺で、のぼり旗を設置し、就業開拓、入会促進を図りました。
- エ 就業機会開拓推進員が発注者を訪問し、再受注(リピーター対策)を図ることとしていましたが、コロナ禍のため自粛対応となりました。

⑤ 相談・情報提供

- ア 入会を希望する高齢者を対象に定期的に入会説明会(毎月15日)を行うと共に、必要に応じた臨時の入会説明会(個別を含)等を実施しました。また、センターの基本理念及び趣旨並びに事業内容を紹介し、入会の促進を図りました。
(入会説明会20回、60名参加・51名入会)
- イ 県連合と連携し「シニア向け出張入会説明会」を実施しました。
令和3年1月21日 午前 沖縄空手会館(4名参加→2名加入)
午後 真玉橋公民館(3名参加→1名加入)

⑥ 社会参加活動の推進

- ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、一般市民と連携して社会参加活動を実施しました。
- ア シルバー事業普及啓発促進月間(10月)行事の一環として、市総合公園清掃、市社協前から市中央公民館前の黒木剪定活動を実施しました。コロナ禍のため規模縮小で実施。(延べ48人日参加)
 - イ 交通安全街頭指導のボランティア活動を夏期・秋期・冬期の年3回実施しました。
(延べ171人日参加)

(5) 組織・事務局体制の整備強化

- ① 理事会を定期的開催(12回)し、組織の活性化及び運営体制の充実強化に努めました。
- ② 市長部局から出向職員を受け入れ、組織の充実強化を図りました。
- ③ 健全かつ効率的な事業運営を図るため、事務事業の改善に努めました。
- ④ 事務局会議を開催(毎週1回)し、情報の共有・相互連携に努めました。
- ⑤ 会員、発注者及び役職員に対してガイドラインの周知徹底に努めました。
- ⑥ 全シ協や県連合が実施する各種研修会(コロナ禍のためオンライン会議)等に参加し職員資質の向上に努めました。